

(様式5)



(処分業者用)
令和06年06月6日

長野県知事 様

令和06年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和04年度 から 令和06年度	
会社名	飯田アスコン 株式会社	
住所	〒395-0241 長野県飯田市久米2217-4	
代表者名	代表取締役 吉川 昌利	
区分	中間処理	最終処分
許可番号	2023022096	
処理施設 所在地 (複数ある場合はそれぞれ記入)	施設名	所在地
	がれき類破碎施設	長野県飯田市久米2217番地4他
担当部署	総務	
担当者名	向山 一儀	
連絡先	TEL	0265-25-4285
	FAX	0265-25-4287
	電子メールアドレス	mukaiyama@ascon.jp
ホームページアドレス	http://www.ascon.jp	

1 産業廃棄物3R実践方針

受入を行った廃棄物（アスファルト舗装廃材）を全てリサイクル製品と出来るように努力する。

2 取組み目標

(1) リサイクル率目標値（中間処理の場合） (%)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和06年度 目標値	令和05年度 実績値	令和04年度 実績値	令和03年度 実績値
がれき類	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100

(2) 再生利用量目標値（中間処理の場合） (t)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和06年度 目標値	令和05年度 実績値	令和04年度 実績値	令和03年度 実績値
がれき類	10,000	8,394	9,734	9,103
全 体	10,000	8,394	9,734	9,103

(3) 最終処分量目標値 (t)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	年度 目標値	年度 実績値	年度 実績値	年度 実績値
該当なし				
全 体				

3 産業廃棄物管理体制

総括管理者	向山一儀（破碎・リサイクル施設技術管理士・資格保有者）
担当者	村松悠治（破碎・リサイクル施設技術管理士・資格保有者）
従業員	従業員（5名）

* 必要に応じ管理体制組織図等を添付する。

4 産業廃棄物の種類、処理量、処理方法、排出ガス、排出水等に関する情報公開

情報公開は、必要に応じてホームページで行う。

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
がれき類 破碎施設	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	久米南平組合工場見学及び意見交換会。 業務内容を理解していただく。
がれき類 破碎施設	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	三穂第1組合工場見学及び意見交換会。 業務内容を理解していただく。

6 中間処理・最終処分を委託する場合の処理業者（施設）現地確認計画（中間処理業のみ）

区分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	該当なし	
最終処分場		

7 従業員教育（研修）計画

項目	教育（研修）計画内容
向山	研修会に参加し知識を高める。（長野県・各協会講習会等）
従業員	廃棄物の事例等を回覧でまわし、廃棄物についての知識を高める。

8 排出事業者への協力要請

受入条件として排出事業者へ協力要請

- ① 土砂・木材などの異物混入していないこと並びに直径30cm以内であること。
- ② 長野県再生骨材に関する安全性の条件を満たす廃棄物であること。

9 リサイクル技術向上に向けた取組み

リサイクルコスト削減のため、異物混入がない事や直径30cm以内であることを受入条件として排出事業者へ協力要請を行う。

10 不法投棄・不適正処理を発見した場合における協力体制

不法投棄や不適正処理と思われる廃棄物を発見した場合には、直ちに関係機関に連絡を行い、情報提供などに心がけ原因者の究明に協力する。

11 自社処理廃棄物の管理方法

該当なし

12 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

代替素材への転換※1、環境認証制度※2の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

年2回、処理施設周辺の清掃を行い地域環境保全の向上に努める。
但し、清掃が必要と思われる場合には必要に応じて行う。

※1 化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと

※2 環境 ISO 14001、エコアクション 21 等